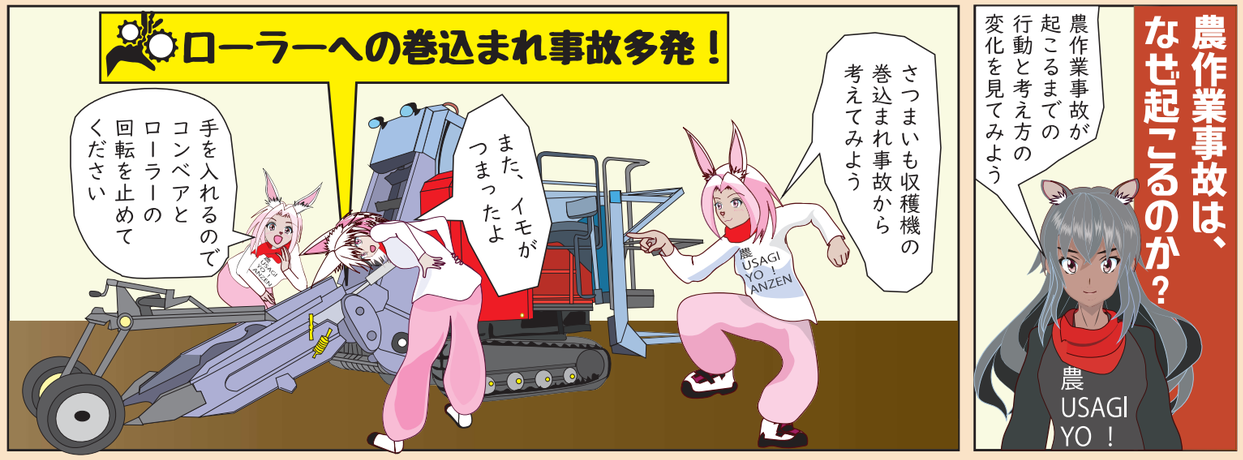

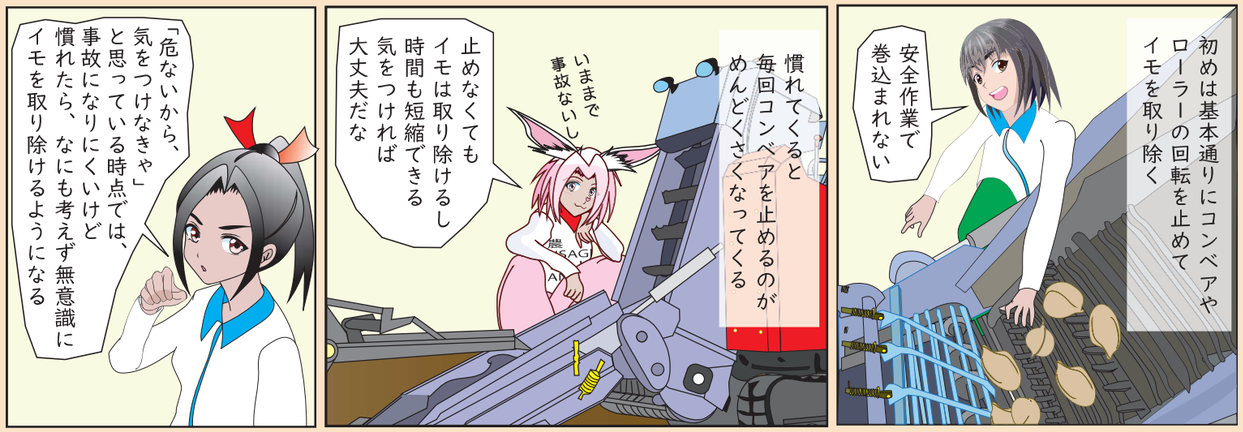

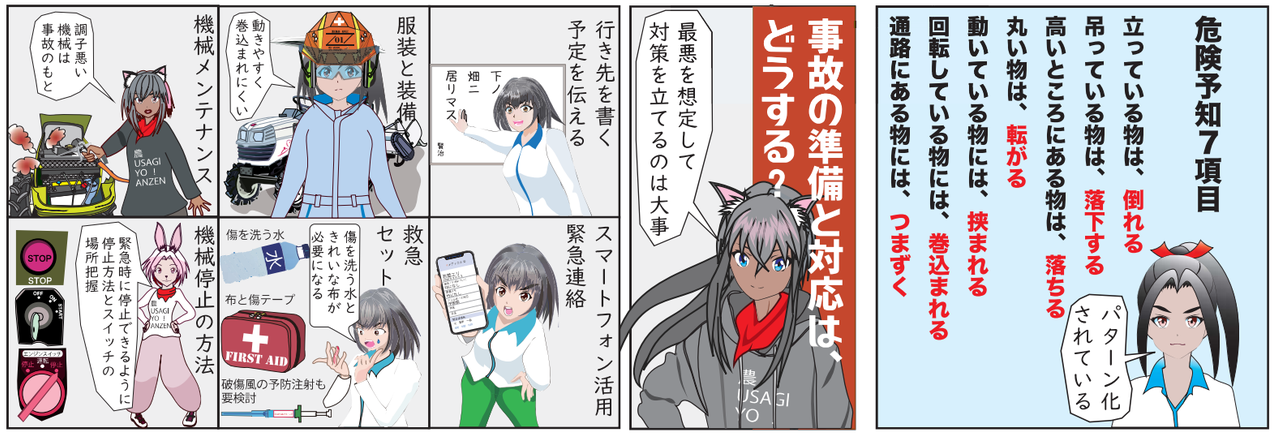
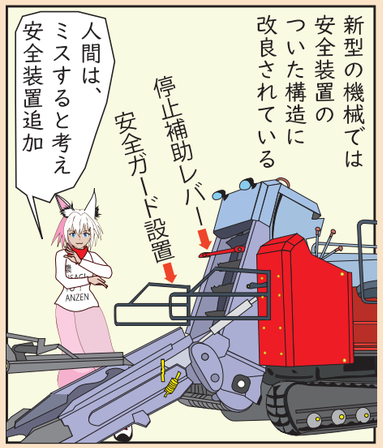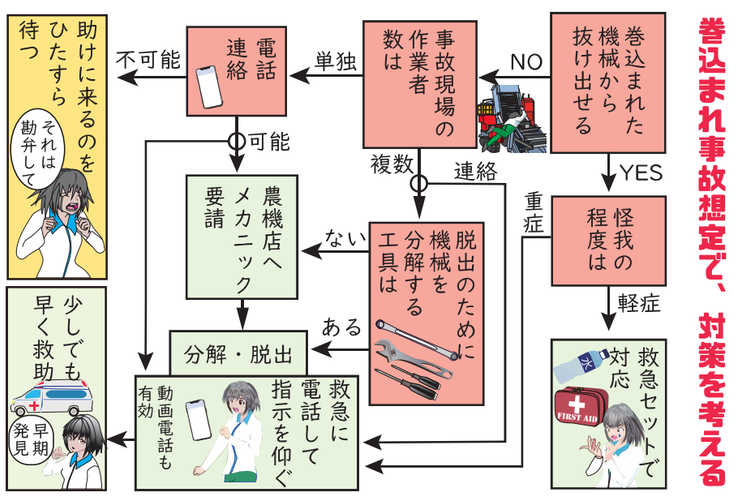
さつまいも収穫機では、機械を止めないで、つまったイモを取り除くことで、手を巻込まれる事故が発生する。機械を止める小さな手間を、時間損失と考え、損失回避のために危険な状態で作業を行うようになる。作業を行ううちに「危ないから、気をつける」と考えるスロー思考から、作業に慣れて無意識に行動するファスト思考に変化することで、気をつけて作業する事ができなくなる。そこに、その他の不幸な要因が偶然に重なり、事故が起こる。事故が起こるのは、明日なのか十年後か不明だが、1回の失敗で、これまでに回避した小さな手間以上の労働力や経営損失の痛手を負うことになる。